

**平成29年度那覇長崎平和交流事業(青少年ピースフォーラム派遣)**

本市では、平和に関する意識を高め、今後の沖縄での平和活動に貢献できる人材育成を目的とし、長崎市にて開催される「青少年ピースフォーラム」に中学生を派遣しております。

主催：那覇市総務部平和交流・男女参画課
(電話)098-861-5195
(メール)46078emik@city.naha.lg.jp

**青少年ピースフォーラムへ参加する前に・・・
～唯一地上戦のあった沖縄戦の実相を学習～**

平成29年7月22日、那覇市役所会議室

沖縄戦体験者講話・DVD『鎮魂ぬちしずめ』鑑賞

- ・元白梅学徒隊の中山さくさんの沖縄戦体験者講話を拝聴する。
- ・白梅の塔慰霊祭の様相や白梅学徒隊の足跡、インタビューなどを収録されたDVDを鑑賞する。

平成29年7月23日、那覇市(首里城周辺)、南風原町、南城市

南部の戦跡めぐり

- ・沖縄戦当時、日本軍の第32司令部壕が置かれた首里城周辺にある戦跡をガイドと共に見学しながら、撤退する日本軍、避難する一般市民の足取りを確認する。
- ・沖縄陸軍病院南風原壕群20号をガイドと共に見学し、当時の壕の中での凄惨な医療状況や戦況悪化に伴う撤退命令後の凄惨な状況(重症患者へ青酸カリでの強制自決、米軍の火炎放射器痕など)の説明を受ける。
- ・人口壕とは異なる自然洞窟(ガマ)である糸数壕(糸数アブチラガマ)をガイドと共に見学し、軍人、負傷兵、軍医、看護婦、ひめゆり学徒隊(看護助手)、一般市民の当時の凄惨な状況の説明を受ける。

平成29年7月29日、沖縄市(コザミュージックタウン音市場)

おきなわピースサミット2017in沖縄市

- ・参加型基調講演では、写真、証明カード、年表を地図の上に置き、沖縄戦の状況地図を作成する。
- ・戦後、極東最大の米軍基地「嘉手納基地」がある環境で、復興時代を生きてきたコザ暴動体験者講話を拝聴する。
- ・沖縄市コザの街を「戦後」、「多文化共生」、「音楽」に焦点をあて、ボランティアガイドと共にフィールドワークする。
- ・ディスカッションでは、意見交換をしながら、多くの意見(情報)を共有し、自分自身の考えをまとめ、今後の平和活動について、行動宣言する。



沖縄戦体験者講話



糸数壕(糸数アブチラガマ)



おきなわピースサミット2017in沖縄市

**青少年ピースフォーラムへ参加しました！！**

市長報告会：平成29年8月21日、那覇市長応接室にて開催

- ・スライドにより事前研修、青少年ピースフォーラム参加状況を報告
- ・派遣生徒一人ひとりが事前研修で学んだ沖縄戦、青少年ピースフォーラムで学んだ原爆被害の実相などの学習経験を経ての感想や今後の平和への思いを報告
- ・修了証書授与(田上長崎市長に代わり、那覇市長より授与)



市長報告会の様子

**その後の平和活動の広まり
～派遣者が参加した平和イベント～**

平成29年那覇市戦没者追悼式：平成29年10月15日

那覇市若狭の旭ヶ丘公園(なぐやけの碑前)にて開催

- ・派遣者の一人が市内中学生の代表として、平和を未来に伝えていくとの「平和メッセージ」を述べました。



平和メッセージ発表